



私たちと一緒に、児童の結婚をどのようにすれば止められるか聞きましょう

強制的な早婚は重大な人権侵害です。

10 a.m. - 5 p.m.

2019年5月24日

オーストリア、ウィーン

国際ゾンタ会長・スザンヌ・フォン・バセヴィッツが、インターポール（国際刑事警察機構）、世界銀行、国連麻薬犯罪機構（UNODC）、及び EndFGM の専門家グループに参加して、強制された児童の早婚について討論します。

「強制された児童の早婚は深刻な人権侵害」と題するこの会議では、UNFPA／ユニセフの世界プログラム「児童の結婚をやめさせる活動の促進」が紹介されます。このプログラムは、バングラデシュ、ブルキナ・ファソ、エチオピア、ガーナ、インド、モザンビーク、ネパール、ニジェール、シエラ・レオーネ、ウガンダ、イエメン、及びザンビアの 12 か国において実施されています。このプログラムは国際ゾンタのサポートで実現し、このプログラムにとってゾンタは民間からの最初の寄附者です。詳しくは下記から。

[More information](#)

会議出席を希望される方は下記をクリックして申請用紙を入手、記入の上、用紙に記載の宛先にEメールしてください。締め切りは**5月16日**です。

[Register](#)

